

事業所名

でいさーびす あいりんごS

支援プログラム (参考様式)

作成日

R7

年

3

月

15 日

法人(事業所)理念		<p>「楽しい・安心できる・使命感」をテーマに重点を置いています。 まず、楽しい気持ちを持つためには、同じ目線に立って自分も一緒に楽しむ。 次に安心できる気持ちを持つためには、もしも相手が自分の家族や友達だったらと思って接することです。 最後に使命感は、「自分だから」「自分しかできない」という気持ちをもって行動する。</p>		
支援方針		<p>楽しい・安心できる・使命感を持った支援</p> <ol style="list-style-type: none"> 楽しい <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが「また来たい!」と思える環境を提供する。 個々の興味や得意なことを活かした活動を取り入れ、遊びや学びを通じて成長をサポートする。 笑顔とポジティブな関わりを大切に、スタッフ自身も楽しむ姿勢を持つ。 安心できる <ul style="list-style-type: none"> 子どもが自分らしく過ごせる「心の居場所」をつくる。 スタッフは温かく寄り添い、一人ひとりの気持ちに丁寧に向き合う。 安全管理を徹底し、保護者も安心できる環境を整える。 使命感 <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの未来を支える存在として、成長や自立を後押しする支援を行う。 一人ひとりの個性を尊重し、可能性を広げる支援を考え続ける。 専門性を高め、チームワークを大切にしながら、より良い支援を追求する。 <p>この3つの柱を軸に、子どもたちの笑顔と成長を支える場所を目指します</p>		
営業時間		9 時 0 分から 18 時 0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 遊びや運動を通じて、自然と体を動かす機会を増やす。(リズム遊び、体操、屋外活動) バランスの取れた食事や水分補給の大切さを、ゲームやクイズ形式で楽しく学ぶ。 生活リズムを整えるための「おやすみ準備活動」などを導入し、楽しく睡眠習慣を知る機会を作る。 定期的に手洗い・うがいの習慣を促し、感染症予防を徹底。 歯磨きや手洗いを習慣化するための「見本活動」や「ロールプレイ」を実施。 保護者とも連携し、日常生活の中で健康的な習慣が定着するよう支援。 		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 遊びの中で運動を促す(鬼ごっこ、ボール遊び、ダンス、障害物レースなど) リズム運動や音楽を活用(リズムジャンプ、音楽に合わせたストレッチ) 子どもの興味に合わせた活動を提供(スポーツ、ダンス、ヨガなど選べる運動メニュー) 感覚を刺激する遊びを提供(シャボン玉遊び、スライム遊び、水遊び、砂遊びなど) 体を動かしながら感覚統合を促す(トランポリン、ブランコ、平均台、スクーターボード) 視覚・聴覚に配慮したリラクセススペースを設置(落ち着けるクッションコーナーなど) 		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 遊びを通じた学習支援(パズル、カードゲーム、クイズ、プログラミング的思考を育む遊び) 五感を使った活動(料理体験、科学実験、お買い物ごっこで数の学習) 興味関心に沿った学び(好きなものをテーマにした図鑑作り、観察活動) 一人ひとりの発達や理解度に合わせた学びのペースを設定。 視覚的支援を活用(スケジュールボード、絵カード、タイマーなど)し、見通しを持って取り組めるようにする。 失敗を恐れず挑戦できるよう、成功体験を積み重ねる。 		
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ルールや約束をわかりやすく提示(イラストや写真を使った視覚支援)。 気持ちのコントロールをサポート(感情カードを使い、自分の気持ちを表現する練習)。 社会で役立つ行動スキルを育てる(挨拶、順番を守る、身の回りのことを自分でやる)。 ことば遊びを通じた学習(しりとり、なぞなぞ、絵本の読み聞かせ、かるた遊び) 音声やリズムを使った活動(手遊び歌、リズムに合わせた発声練習) 絵カードを活用した語彙力アップ(イラストを見て言葉を当てるクイズ) 		

人間関係 社会性		<ul style="list-style-type: none"> ・無理に友だちと関わらず、一人ひとりのペースを尊重。 ・「関わりが苦手な子」に対しては、間接的な関わり（並んで遊ぶ、共通の遊びを楽しむ）からスタート。 ・スタッフが間に入りながら適切な関わり方をサポートし、人とのやりとりの成功体験を積む。 ・お店やさんごっこ、バスの乗り方練習など、社会的ルールを学ぶ遊びを実施。 ・「ありがとう」「ごめんなさい」を伝える練習を楽しく（お礼の手紙作り、感謝のメダル作り）。 ・役割を持って活動する経験を増やす（当番活動、イベントの司会など）。 		
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・家庭でできる遊びや学びのアイデアを提供（簡単な運動遊び、感覚遊び、コミュニケーションゲームの紹介）。 ・子どもの得意なことや好きなことを共有し、家庭での会話のきっかけを増やす。 ・「一人じゃない」と感じられる環境を作り、親が安心して子育てできるよう支援。 ・家庭と地域全体で子どもの成長を支えられるネットワークを構築。 ・「親が笑顔でいることが、子どもの成長につながる」ことを意識し、家庭の負担を減らす支援を行う。 	移行支援	<p>子どもたちが次のステップ（小学校から中学校、中学校から高校、または就労・自立に向けた準備）へスムーズに進めるようサポートすることを指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい環境への期待を高めるプログラム ・環境の変化に適応できるよう、事前に見通しを持たせる ・「できること」を増やし、自信を持って進学できるようサポート。 ・学校や家庭と連携し、一貫した支援を提供（個別の支援計画に基づいた移行支援）。 ・子どもが「次のステップへ進むこと」に前向きになれるよう支える。
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の支援機関と連携し、家庭が使える支援サービスの情報を提供。 ・子どもが家庭・学校・地域で一貫した支援を受けられるようにする。 ・地域社会の理解を深め、障害のある子どもたちが安心して暮らせる環境を作る。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・職員同士で学び合う社内研修 ・外部研修への参加促進（発達障害、感覚統合、行動支援、虐待防止、家族支援など）。 ・「子どもと一緒に楽しむ」ことを大切にする文化をつくる（職員もイベントに積極参加）。 ・「支援のプロ」としての自覚を高め、専門性を深める環境を整備。
主な行事等		<p>・初詣・節分・運動会・遠足・クリスマス会・全事業所合同活動など</p>		